

令和4年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 令和5年3月30日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	4
2 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業	5
3 無形民俗文化財活動支援事業	6
4 国見町歴史文化読本作成事業	7
5 歴史を活かしたまちづくり推進事業	8
6 案内ボランティア育成事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	10
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	11
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	12
4 文化財の防災・防犯に関する取組	13
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	14～15
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	16
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	17
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 くにみで初の歴史ウォーク等	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	20
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	21

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度																				
項目		現在の状況																					
計画の実現に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																					
計画に記載している内容	歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
第8回および第9回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、進捗状況の確認、計画の変更に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、進捗状況の確認、今後の事業スケジュール、事業実施の調整等を協議した。																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴まち計画のⅡ期計画について具体的に検討を進めていく必要がある。																						
状況を示す写真や資料等																							
<p style="text-align: center;">■計画の推進体制図</p>																							
<p>●令和4年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成</p> <table border="1"> <tr> <td>建設課長</td> <td>1名</td> <td>建設係1名</td> <td>管理係1名</td> </tr> <tr> <td>産業振興課長</td> <td>1名</td> <td>商工観光係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校教育課長</td> <td>1名</td> <td>学校教育係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>1名</td> <td>生涯学習係1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画調整課長</td> <td>1名</td> <td>地域振興係4名</td> <td></td> </tr> </table>				建設課長	1名	建設係1名	管理係1名	産業振興課長	1名	商工観光係1名		学校教育課長	1名	学校教育係1名		生涯学習課長	1名	生涯学習係1名		企画調整課長	1名	地域振興係4名	
建設課長	1名	建設係1名	管理係1名																				
産業振興課長	1名	商工観光係1名																					
学校教育課長	1名	学校教育係1名																					
生涯学習課長	1名	生涯学習係1名																					
企画調整課長	1名	地域振興係4名																					
<p>●会議の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名称</th> <th>開催年月日</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回歴史まちづくり庁内検討委員会</td> <td>令和4年5月18日</td> <td>令和3年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> <tr> <td>第8回国見町歴史的風致維持向上計画協議会</td> <td>令和4年5月26日</td> <td>令和3年度進行管理評価・中間評価等</td> </tr> <tr> <td>第2回歴史まちづくり庁内検討委員会</td> <td>令和4年12月15日</td> <td>国見町歴史的風致維持向上計画の変更について</td> </tr> <tr> <td>第9回国見町歴史的風致維持向上計画協議会</td> <td>令和5年1月13日</td> <td>国見町歴史的風致維持向上計画の変更について</td> </tr> </tbody> </table>				会議名称	開催年月日	概要	第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和4年5月18日	令和3年度進行管理評価・中間評価等	第8回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和4年5月26日	令和3年度進行管理評価・中間評価等	第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和4年12月15日	国見町歴史的風致維持向上計画の変更について	第9回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和5年1月13日	国見町歴史的風致維持向上計画の変更について					
会議名称	開催年月日	概要																					
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和4年5月18日	令和3年度進行管理評価・中間評価等																					
第8回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和4年5月26日	令和3年度進行管理評価・中間評価等																					
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和4年12月15日	国見町歴史的風致維持向上計画の変更について																					
第9回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和5年1月13日	国見町歴史的風致維持向上計画の変更について																					

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。

【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。

【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町的美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。

【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

令和4年度実績

- ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出3件【建設課所管】
- ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 2件 (※軽微な変更含む)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

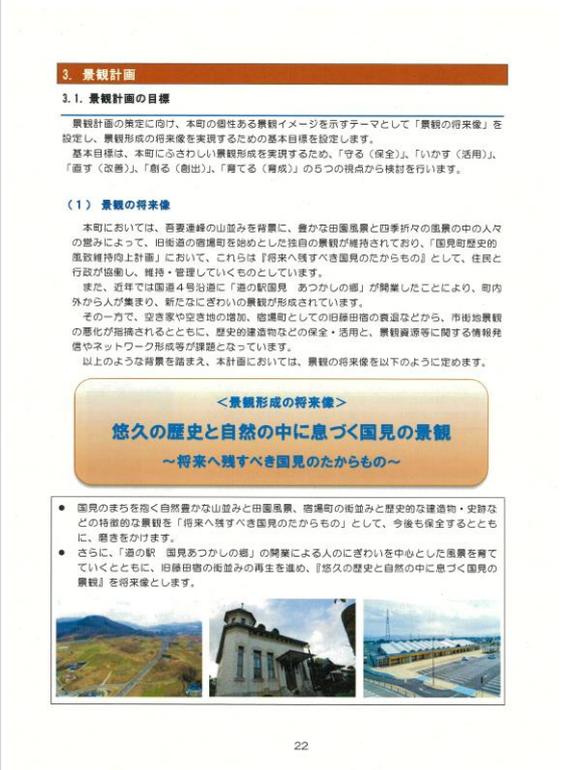
項目	評価対象年度	令和4年度
景観計画策定に向けた取り組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

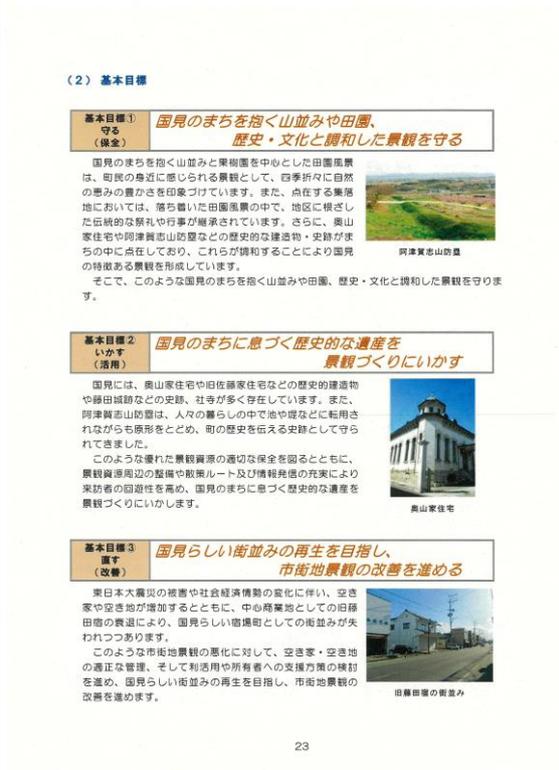
計画に記載している内容
本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より策定に向けた取り組みをしている。
令和4年度実績
・景観計画策定に向け、昨年度までに実施した町民アンケート結果や団体からのヒアリング内容を集約しながら、「国見町歴史的景観保存計画(素案)」の本文部分の作り込みを建設課で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「国見町歴史的景観保存計画(素案)」について、早期の策定を目指す。

状況を示す写真や資料等





国見町歴史的景観保存計画(素案)(一部)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①【遠矢崎地区】追加指定(令和4年11月10日)
- ②【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園サイン工事(令和4年11月14日～令和5年2月28日、サイン設置1基)
- ③防塁整備計画の進捗管理、今後の取り組み等に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(令和5年2月13日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引き続き公有地化・活用について推進するため、確認調査等を実施していく。

状況を示す写真や資料等



歴史公園サイン設置箇所・追加指定箇所



調査・指導整備委員会を開催
2月13日

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
阿津賀志山防塁歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 下二重堀地区の周辺に園地整備を行う
下二重堀地区周辺においては、駐車場・遊歩道の整備を行い阿津賀志山と中尊寺蓮池を一体的に周遊できるよう整備、またガイダンス広場を設置し歴史認識を深めるよう整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園サイン工事(令和4年11月14日～令和5年2月28日、サイン設置1基)
- ②公園の管理や活用に向けた地域住民団体との打ち合わせを8回開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

計画していた整備について、令和4年度で完了した。

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園竣工
全景



サイン設置状況

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①町指定無形民俗文化財の保護団体である1団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。
- ②太々神楽の継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、チラシの作成や周知を行った。教室では、マスクの着用・消毒な新型コロナウイルス感染予防対策に努め、参加者のソーシャルディスタンスの確保、検温など予防対策を講じて実施した。周知については学校教育課と連携して行った。
- ③小学校での総合学習での披露や、あつかしまつりに出演し、発表した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子ども太々神楽教室で練習し、「あつかしまつり」で神楽を披露した参加者は「これからも舞や太鼓の演奏など神楽の演技を覚え、皆さんに披露していきたいです。」と話しており、伝統芸能の継承のため、今後もサポートをしていく。
--	--

状況を示す写真や資料等

■子ども太々神楽教室

明治時代より伝わる内谷春日神社太々神楽を後世に伝えるため、9月から10月にかけて練習が行われた。10月15日にはあつかしまつりの「あつかしまつり」に出演し、太々神楽を披露した。12月20日には、国見小学校の総合学習の授業で神楽を披露した。



内谷春日神社例大祭 神楽奉納



子ども太々神楽教室



あつかしまつり公演



小学校総合学習 神楽披露

■無形民俗文化財支援

タイトル	概要
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室の参加者募集に関する支援

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
国見町歴史文化読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにみ歴史本」を4000部作成した。今年度も学校教育課と連携し、町内の小中学生に配布し、小学校の歴史フィールドワークや中学校の歴史学習にて教材として活用した。町の歴史や文化への理解を深めるために活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「くにみ歴史本」については継続して活用していく。

状況を示す写真や資料等



国見小学校「歴史フィールドワーク」



県北中学校総合学習「歴史学習」



「くにみ歴史本」表紙

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
歴史を活かしたまちづくり推進事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったワークショップ等を開催した。
①あつかし千年公園を会場に、(一社)二重堀サポートネットワークと協力し、蓮まつりを開催した。(約2000名来場)蓮まつりでは案内ガイドや各種ワークショップを行った。
②国見町歴史まちづくりシンポジウムを開催し、国登録有形文化財松田家住宅に関する基調講演と、地域活性化についてのパネルディスカッションを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



蓮まつりの様子



蓮まつり 土器づくり体験

国見町歴史まちづくりシンポジウム
国登録有形文化財松田家住宅について
文化財を活かした地域づくり

日時 令和5年3月4日(土)
開場 13:00～開演 13:30～15:00

会場 貝田公民館
駐車場 大沼公園
定員 40名程度
参加無料

基調講演「国登録有形文化財松田家住宅について」
松山女子大学 奥田 博美(講師)
国見町立大学 池田 隆雄(コーディネーター)
パネルディスカッション「文化財を活かした地域づくり」
コーディネーター：貝田 隆雄(国見町立大学学長)
パネリスト：松田 隆子(松田家住宅当主)、阿部 野矢(歴史館館長)
大塚 隆三(国見町立美術館館長)

主催：国見町歴史まちづくりフォーラム、後援：国見町
お問い合わせ：国見町企画調整課 電話：024-583-2967



国見町歴史まちづくりシンポジウム

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
案内ボランティア育成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在、案内ガイド「くにみ案内人」は16名が登録。また、国見町文化財センターあつかし歴史館の館内を案内するボランティア「あつかし歴史館サポーター」は15名が登録している。今年度は歴史館サポーター研修に力を入れ、年4回の研修会を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドの資質向上と、多くの来町者への対応力育成を継続的に行う必要がある。		

状況を示す写真や資料等



第1回サポーター研修会(4月16日)
場所)あつかし歴史館研修室



第4回サポーター研修会(1月14日)
企画展示の解説を通して町内文化財を伝える研修
(場所)あつかし歴史館 展示室

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況

文化財の維持・修理に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

計画に記載している内容 経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所
- ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 4回実施
- ③文化財パトロールの実施
- ④令和4年3月16日発生の福島県沖地震で被害のあった建造物5件のうち3件へ災害復旧のための補助金交付及び復旧方法の協議を行った。旧小坂村産業組合石蔵については、度重なる被災もあり復旧困難のため除却となった。旧佐藤家住宅および奥山家住宅主屋については修繕を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

毎年のように発生する地震や自然災害の影響により、歴史的建造物の維持が困難となっている。保存活用していくために大規模改修等が必要であるが、財源確保が課題となっている。町では令和3年に国登録有形文化財への管理・修理への補助金の拡充をした。また、国の災害復旧補助事業も令和4年10月に創設され、これらを活用し多発する自然災害への対応を図っていく。

状況を示す写真や資料等

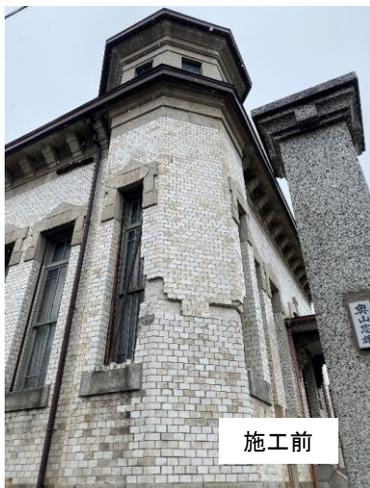


町登録「沼田神社本殿彫刻一棟」彫刻の破損、ずれ



町登録「福源寺地藏庵観音堂」外壁漆喰亀裂

地震被害を受けた建造物



施工前



施工後

3/16発生福島県沖地震により被害のあった文化財への復旧支援
 (国登録「奥山家住宅洋館」の外壁修繕)

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町は、国見町親月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、新型コロナウイルス基本対策を施しながら、利用者が足を運びやすい企画・展示をタイムリーに実施することで、町の文化財に対する理解を深めてもらうきっかけとした。 ・歴史館のイベントに合わせ、季節・年中行事を取り込んだ部分展示を実施した。 ・研修室を第2展示室とし、歴史に触れる機会を増やす展示を実施した。 ・あつかし歴史館に保存・展示している町郷土史家・故菊池利雄先生の研究資料を町民向けに解説する歴史講座を計12回開催し、延べ551人が受講した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス対策として、来館者へのマスク着用・検温・消毒・来館者名簿作成による来館者管理、また施設内のこまめな消毒作業を徹底し施設運営をした。引き続き、感染防止対策を講じて運営する。	
状況を示す写真や資料等			



歴史館第2研修室での展示



歴史館に足を運ぶ機会を増やすための花畑の試



歴史館イベントに合わせた雛人形展示



歴史館歴史講座

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①歴史公園の案内サインについて遺構面・眺望に配慮し、設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の周辺環境について改善を図っていく。

状況を示す写真や資料等



遺構面に配慮し据え置き型とし、眺望を阻害しないよう設置した。

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の防災・防犯に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①防火に対する取組
 - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月30日)
 - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知する広報実施
- ②防犯に対する取組
 - ・文化財パトロールの実施(随時)

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
関係団体と連携し、取り組みを継続する。

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」



町広報紙(お知らせ版)による周知



7/19文化財パトロール
福島県文化財保護指導委員による

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、文化財の案内ガイドなどを実施した。
 学校教育については、学校教育課と連携。歴史探訪ウォーキングについては生涯学習課との連携事業。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の普及・啓発を継続する。

状況を示す写真や資料等



あつかし歴史館での国見町に関わる
歴史町民講座の実施



国見町歴史まちづくりシンポジウム

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	令和4年度	歴史と年中行事にまつわるイベントを年4回実施
町民による歴史探訪ウォーキング	令和4年度	町民による歴史関連遺跡のウォーキング 年3回実施各回20人程度
総合学習での国見学の取り組み	令和4年6月3日	国見小学校6年生の歴史館での学習 54人
県北中学校教員初任者研修	令和4年7月14日	県北中学校初任者教員の国見の歴史研修 2人
国見町教育研究会による歴史学習の取り組み	令和4年7月21日	歴史学習フィールドワーク 14人
国見町歴史まちづくりシンポジウム	令和5年3月4日	基調講演とパネルディスカッションを実施 40人
町民講座	各月1回	全12回
文化財ボランティア案内件数	令和4年度	20件659人

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」に、「歴まちさんぽ」と題して、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組について毎月掲載した。(平成29年7月から69回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 効果的な普及・啓発となるよう工夫を凝らす必要がある。

状況を示す写真や資料等



国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。
 【企画調整課地域振興係 ☎585-2967】
 【あつかし歴史館 ☎585-4520】

松田家住宅 国登録有形文化財へ

町では貝田地区の「松田家住宅」の国登録有形文化財に向けて取り組みを行ってきました。これまで登録に向けた調査を行い、近世豪商住宅の現存遺構であること、独自の防火対策を推し、防火の町並みのさきがけとなった建築物として地域的価値が高いことなどから、国や県と協議し、登録手続きを行ってきました。国の文化審議会が審議され、7月22日に文部科学大臣へ登録されるよう申請されました。今後、文化庁での手続きが進められ、正式に松田家住宅が国登録有形文化財となる見込みです。



松田家住宅外観

歴まちインフォメーション

第9回 国見町に咲く中尊寺蓮 絵画コンクール作品募集!

国見町中尊寺蓮育成会が主催する「国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクール」が今年も開催されます。見ごろを迎えている中尊寺蓮を国見町の風景と共に描いてみませんか?

募集内容 題材：国見町に咲く「中尊寺蓮」と「阿津賀志山防壁」
 用紙：四つ切画用紙(39×54cm)
 ※募集は一人一点
 ※小学生～大人までOK!
募集期限 8月26日
提出方法 下記入持参または郵送で提出
 ・企画調整課
 ・国見町文化財センターあつかし歴史館
問い合わせ
 (一社)二重堀サポートネットワーク ☎585-1112 (氏家博昭方)
 企画調整課地域振興係 ☎585-2967

令和4年度 子ども太々神楽教室生募集!

小坂内谷地区で明治時代から伝わる、町無形民俗文化財の「内谷春日神社太々神楽」の、舞・太鼓・笛を体験できる講座が開催されます。「国見のたからもの」の太々神楽をみんなで学んでみませんか?

開催日 9月3日～10月29日までの毎週土曜日
開催時間 各回とも午後2時～午後4時
開催場所 内谷春日神社(拝殿)
対象者 町内の小・中学生15人程度
講師 内谷春日神社太々神楽保存会の皆さん
申込方法
 ①氏名(ふりがな)、②学年・組、③性別、④保護者名、⑤電話番号、⑥住所
 ①～⑥を記入または口頭にて、電話またはFAXにて申し込み
 ・企画調整課地域振興係 ☎585-5967・FAX 585-2181



あつかし歴史館で「七夕まつり」を開催!

8月6日日に大木戸歴史館むらづくりの会との連携で、あつかし歴史館「七夕まつり」を開催しました。
 年中行事の七夕や星の観察をテーマとして、七夕の飾りつけやプラネタリウムなどの体験活動を行い、家族で楽しむイベントとなりました。150人以上の来場者で、会場は子どもたちの笑顔で賑わいました。

Interview 参加者の声
 チラシを見て来ました。初めてのプラネタリウムでした。ドームの中は真っ暗で、いろいろな星がたくさんで、楽しかったです。また参加したいです!

七夕の飾りつけ
 願い事はどうか? お菓子のプレゼントもありました。

星観察
 星観察早見図づくり
 デモレーションをしてオリジナルの星観察早見図が完成しました。

花火
 子どもたちの歓声が響き渡りました。

メダカすくい
 長蛇の列ができて、メダカに夢中になっていました。

史跡阿津賀志山防壁 くみに蓮まつり2022

中尊寺蓮が見頃を迎える7月16日玉から7月31日にかけて、くみに蓮まつり2022が開催されました。期間中の土日祝日には、(一社)二重堀サポートネットワークの皆さんによる案内ガイドや、ミニマルシェなどが行われました。今年の蓮は、五年よりも早めに咲き始め、県内外から多くの方が訪れました。
 土器づくり体験や草木染体験は好評でした。そのほか、蓮の葉を利用した蓮シャワーでは水を浴びる子どもたちも見受けられ、甲冑体験では、甲冑を着て助懸や連懸で写真をとることもできました。
 イベントを通じて、蓮の美しさや町の歴史を伝える機会となりました。



蓮と阿津賀志山防壁 甲冑体験
 土器づくり体験 蓮シャワー

「広報くにみ 歴まちさんぽ」

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開発に伴う試掘・工事立会などを実施した。 【開発に伴う試掘】・奥州道中国見峠長坂跡 光明寺跡 藤田城跡 各1件 【開発に伴う工事立会】・長館跡1件 藤田城跡2件 満福寺跡1件 光明寺跡については試掘の結果、遺構遺物は出土せず、もっと山よりであろうことが分かった。 長坂跡については試掘の結果、調査箇所より西側に街道があったと推定される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護のため、試掘・工事立会が必要な場合は都度実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



開発に伴う試掘(長坂跡)



開発に伴う試掘(光明寺跡)



開発に伴う工事立会(満福寺跡)



開発に伴う試掘(藤田城跡)

評価軸④-8
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による方部研修会、展示会の開催
 - 4月～12月 発掘写真と資料で見る阿津賀志山防塁展
 - 11月27日 小坂方部研修会・フィールドワーク(小坂・観音堂を歩けば) 50人参加
 - 1月～3月 『郷土の研究』50周年の歩み展
- 内谷春日神社太々神楽保存会・国見町子ども太々神楽教室
 - 9月～10月 子ども太々神楽教室の開催
- (一社)二重堀サポートネットワークによる中尊寺蓮の育成、PR事業
 - 7月 あつかし千年公園を会場とした蓮まつりの開催
 - 7月～10月 絵画コンクールの開催 185名からの応募
- 大木戸歴史むらづくりの会との連携
 - 5月～2月 あつかし歴史館イベント 計4回、来場者のべ約700名

【町外団体】

- JR東日本による「JR小さな旅」の開催 1回開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の保存・活用のため、各団体等と連携を進める。

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会方部研修会



くみに蓮まつり



中尊寺蓮絵画コンクール



あつかし歴史館イベント「あつかしまつり」

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主な事業】

- 国見小学校 総合学習(フィールドワーク:阿津賀志山防塁下二重堀地区、あつかし歴史館)
(太々神楽講演会:内谷春日神社太々神楽)
- 県北中学校 教諭初任者研修(あつかし歴史館)
- 公民館事業 グループ学習(歴史探求ウォーキング)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の保存・活用のため、各団体等と連携を進める。

状況を示す写真や資料等



国見小学校「総合学習・国見フィールドワーク」



国見小学校「総合学習・太々神楽公演」



県北中学校「教諭初任者研修」



公民館事業・グループ学習「歴史探訪ウォーキング」

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
くにみで初の歴史ウォーク	令和4年4月30日	福島民報
あつかし千年公園の中尊寺蓮	令和4年7月12日	福島民報
あつかし歴史館5周年感謝のひまわり	令和4年8月28日	福島民友
3年ぶり鹿島神社例大祭	令和4年10月26日	福島民友
松田家住宅に登録証	令和4年12月23日	福島民報
文化財防火備え万全に	令和5年2月1日	福島民報
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史まちづくりに関する取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も歴史まちづくりに関する取り組みの情報発信に努める。	
状況を示す写真や資料等		
<p>●文化財センターに関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あつかし歴史館5周年感謝のひまわり(令和4年8月28日 福島民友、福島民報) ・鎌倉殿の13人国見でパネル展(令和4年9月22日 福島民友) <p>●祭礼・イベントに関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くにみで初の歴史ウォーク(令和4年4月30日 福島民報) ・3年ぶり鹿島神社例大祭(令和4年10月26日 福島民友) ・文化財防火備え万全に(令和5年2月1日 福島民報) <p>●阿津賀志山防塁に関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中尊寺蓮池(令和4年7月12日 福島民報、令和4年7月22日 福島民友) <p>●文化財の追加指定に関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠矢崎地区国史跡追加を答申(令和4年6月18日 福島民報) ・松田家住宅登録へ(令和4年7月23日 福島民友) 		
		
文化財防火デー 国見町消防団放水訓練 (令和5年2月1日記事掲載)	くにみ歴史ウォーク	

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

計画に記載している内容
本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和4年度案内ボランティア(くにみ案内人)の利用者延べ人数及び利用団体数は659名、20団体だった。前年度よりは増加となったが、新型コロナウイルス等の影響により、例年と比較すると減少しているが、徐々に回復傾向である。また、新型コロナウイルス感染拡大防止及び、福島県沖地震からの災害復旧工事を行っていたため奥山家住宅の一般公開を行わなかった。初の試みであった歴史ウォークにおいては町外の方の多くの参加があり、ウォーキングと文化財ガイドの取り組みに参加者から好評をいただいた。

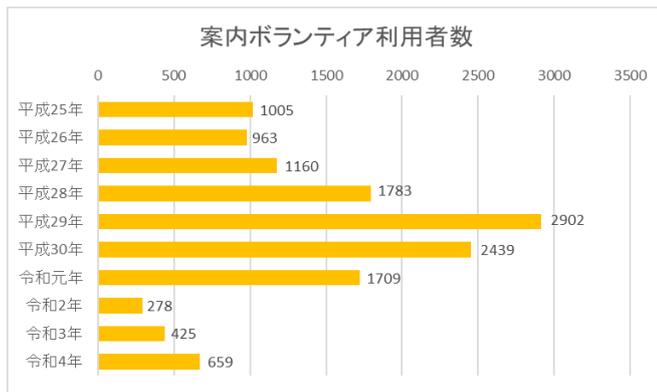
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
案内ガイドの健康安全に配慮した活動。
歴史的建造物の内部一般公開の機会が減少したため、デジタルコンテンツを活用し、魅力をPRしていく。

状況を示す写真や資料等

■案内ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ人数
平成25年	1,005人	14団体
平成26年	963人	13団体
平成27年	1,160人	34団体
平成28年	1,783人	48団体
平成29年	2,902人	70団体
平成30年	2,439人	48団体
令和元年	1,709人	32団体
令和2年	278人	9団体
令和3年	425人	17団体
令和4年	659人	20団体



■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月23日 義経まつり	746名	567名(79%)
令和元年9月23日 義経まつり	622名	500名(80%)
令和2年 義経まつり	中止	-
令和3年 義経まつり	中止	-
令和4年 義経まつり	実施したが 工事のため非公開	-



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第10回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年5月17日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①様式に各事業の担当部署を記載するところが無い。担当部署など庁内でどのように記録しているか。</p> <p>②何人集まったかというような評価に重点を置かれているが、満足度がどうなったか等、その結果どのような効果があったかという点について掘り下げていただきたい。</p> <p>③発掘調査の結果どのような知見が得られたのか記載すると良い。</p> <p>④令和4年3月地震で被災した5件のうち今回は3件について記載がある。旧小坂村産業組合石蔵・旧佐藤家住宅への言及がないが、記載すると良い。</p> <p>⑤文化財の災害復旧について財源確保が課題とある。補助の状況について記載すると良い。</p> <p>⑥町民の評価の吸い上げも必要かと思う。歴史ウォークの参加者等の意見を入れる等すると良い。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①事業に応じて各課連携して取り組み、お互いに記録して対応している。</p> <p>②定量的・定質的評価ということで評価したいと考えている。満足度など聞き取りしている事業については、それらをデータ化して次回に生かしていきたい。</p> <p>③④⑤⑥追記します。</p>	